

宮城県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 5 名

立候補者数 : 2 名



氏名 榑 望

都道府県士会 宮城県

年齢 50

勤務先名称 仙台リハビリテーション病院

協会・士会役員歴

平成18年～ 日本理学療法士協会代議員
平成19年～ 宮城県理学療法士会理事
(平成21年～ 一般社団法人宮城県理学療法士会)
平成21年～ 日本理学療法士協会東北ブロック協議会理事

立候補の趣旨

理学療法士の人員余剰や、質の低下が叫ばれるようになり久しく経過します。この間、社会における理学療法士のニーズは多種多様化しており、結果先達が培った理学療法士の強みは希釈されて、ある領域では他職種にその役割を脅かされ、またある領域では理学療法士の言動が嘆息を呼ぶことがあるのも、目を背けられない事実です。これらへの対応として、学術的な高みを目指すこと、理学療法としての資質を高める教育、職能領域の拡大と質の向上を図ること等を日本理学療法士協会は謳っています。私は10年余りの県士会・協会活動の中で、社会ニーズの変化への対応や、理学療法士の地位向上等への取り組みなどを経験してきました。平成30年の診療介護報酬同時改定や、地域共生へ向かう社会の中で理学療法士が担う役割について、より見聞を深め、宮城県理学療法士会会員の皆様へ情報提供や提言ができればと考えます。



氏名 村上 賢一

都道府県士会 宮城県

年齢 39

勤務先名称 東北文化学園大学医療福祉学部

協会・士会役員歴

平成24年 一般社団法人宮城県理学療法士会理事 学術局局長・3期（現在に至る）

立候補の趣旨

私はこれまで宮城県理学療法士会の理事を3期務めて参りました。この3期では、学術局局長として生涯学習の充実を図るため活動いたしました。宮城県における研修会の回数増加や規模の拡大により、新人教育プログラム修了者や認定・専門理学療法士の取得者を増加に繋がりました。現在、理学療法士数は急激に増加しており、今後も増加の一途を辿ります。これにより、質の低下が懸念される中、生涯学習の充実が理学療法士の水準を維持・向上するために重要です。日本理学療法士協会として、平成33年4月に新生涯学習制度の開始を控えております。この新制度は、如何に理学療法士の質を担保し、職域を確保していくかを模索していくものです。しかし、生涯学習担当者として説明会に参加するものの、現状では不透明な点が散見されています。私は代議員として、意見交換や内容把握する機会を得たく、立候補いたします。また、理学療法士が社会的に信頼を勝ち得ていくためには、前述した質の問題以外にも多くの問題を抱えていると考えています。宮城県理学療法士会のみならず、その問題を解決すべく、情報発信や活動を提供するため、精一杯努力させていただきます。